



中国四国管区行政評価局長表彰を受賞

5月10日、樋村良幸さん（福永）が行政相談委員として長年の功績により、中国四国管区行政評価局長表彰を受賞されました。平成11年12月から行政相談委員として町民と行政の間に立ち、行政への苦情や相談を受け、その解決にあたってこられました。

「町道や地籍調査などの境界線、定額給付金や年金の手続きなど、相談内容は様々です。住民の方が相談してよかったと喜んでもらえたら」とやりがいを語られました。

岡崎武志代表監査委員が 広島県町等監査委員協議会会長に選任

6月3日、広島市で開催された「広島県町等監査委員協議会」の役員会で、神石高原町代表監査委員岡崎武志さんが同協議会の会長に選任されました。

この協議会は、広島県内の町と一部事務組合における監査委員制度の健全な進展を推進し、地方自治の振興に資することを目的に組織されたもので、現在9つの町と6つの一部事務組合で組織されています。



「看護の日」イベントを開催しました

5月13日（木）、町立病院外来フロアで看護部主催の「看護の日」イベントが開催されました。「メタボリックシンドロームを防ごう」をテーマに、体成分分析装置による測定・ストレス度測定や低カロリーおやつを試食しながらの栄養指導やソーシャルワーカーの医療福祉相談などが行われました。



「広島大学医学部学生」がやってきました



患者のレントゲンを見ながら症例の研修を行う医学生と講師

過疎地域の医療現場を体験する広大医学部の臨床研修が始まり、5月24日（月）から毎週2名1組で5日間の実習を始め、12月までの間17組が実習します。

町立病院の服部内科部長が広大講師として責任者となり、元県立病院時院長の竹内教授も実習を担当されます。学生は診察や検査の実態を学び、病棟での身体診察やリハビリ見学、訪問診療に同行するなど内容の濃い実習を行います。

ここでの実習、経験を通して地域医療のやりがいや醍醐味を感じてもらい、将来の担い手に育ってもらうため、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

病院にきれいな花が咲いています

「神石高原町立病院を守る会」の方々によるボランティア活動で5月9日（日）、病院南側の周りがある花壇のプランターに花を植えていただきました。病院を大切に思う気持ちによる活動に感謝し大切に育てたいと思います。ありがとうございました。



「まむし咬傷について」

健康学習会「まめくらぶ」



（講師：原田院長）

5月25日（火）、町立病院会議室で開催しました。講師の原田院長から「草むらを歩いていると突然足に激痛が…見ると蛇が1匹逃げています。あなたはどうしますか？」などとクイズ形式で進め、対処法について理解を深めてもらいました。①まず慌てず、落ち着いて行動。②できれば、咬んだへびの確認。③傷より心臓に近い方を軽くしぼる。④傷口から毒を吸出す。（咬まれて30分以内なら毒の排出に有効、現場での切開は非常に危険、絶対にしない）⑤走らず、出来るだけ早く医療機関を受診。（自分で車を運転するのは危険）

もし、咬まれた時はこの5つを思い出して行動してください。

「神石高原町ふるさとのおむかしばなし」ができたよ



「神石高原町ふるさとのおむかしばなし」が出来ました。これは、この郷土の貴重な文化を子ども達に継承したいとの願いから2年前に出版された本を、朗読ボランティア「こだまの会」（会長 小森勇/23名）によって、今回録音テープとCDが完成しました。こだまの会では「ささやかな村おこしになれば、また地域のコミュニケーションに一役立てれば」と話されています。

これらは社会福祉協議会とシルトピアアカレツジ図書館で借りることが出来ます。みなさんぜひ、ふるさとのおむかしに触れてみてください。



NHKお好みワイドキャラバンin神石高原町



5月24日、午後6時10分から7時までNHK「お好みワイドひろしま」が道の駅さんわ182ステーションから公開生放送されました。

廃校を利用した学校食堂の取り組みや、ふくろうを育てる見永さんの様子が放送され、お祭り広場ステージでは神代子供神楽が生中継されました。また、会場では、帝釈峡しゃも地鶏の料理が紹介されました。

会場は多くの方が集まり盛り上がりしました。